

政策評価書（要旨） （事後の事業評価）

事業名	水中航走式機雷掃討具（S-10）	担当部局	管理局開発計画課
政策分野	防衛装備の適正な維持・管理（研究開発）	実施時期	平成15年12月

事業の内容 航路、海峡、港湾等に敷設された各種機雷を掃討し処分する機雷処分具（S-7）の後継として、掃海艇に搭載し、艇の前方遠距離において安全に機雷掃討を実施するための水中航走式機雷掃討具（S-10）を開発した。	10	11	12	13	14	15	完了年度
	← 試作（その1） →			← 技術試験 →			15年度 開発経費
		← 試作（その2） →				← 実用試験 →	約57億円

評価の内容

事業の目的 近年の危害範囲を拡大した機雷に対処すべく、掃海艇が安全かつ効率的に機雷掃討を行うため、遠距離から機雷の搜索・探知・処分等を実施し得る水中航走式機雷掃討具の開発を目的とした。	達成状況 達成効果 以下の技術を確立したことにより、要求を充たす機雷掃討具の装備化が可能となった。 ア 探知領域拡大技術 イ 誘導制御技術 ウ 追従制御技術 エ 低雑音化等
--	---

達成時期 平成10年度に試作に着手し、平成13年度から14年度にかけて技術試験を実施し、平成15年7月に実用試験を終了した。	教訓等事項 民生品の活用、部品点数の削減を図るとともに、現有の機雷処分具（S-7）の構成部品との共通化等によりライフサイクルコストの低減を図ることができた。今後の水中武器の技術開発において、これらの成果を積極的に活用する。
--	---

今後の対応

現有の機雷処分具の後継として、掃海艇の遠距離において機雷の搜索・探知・処分等を実施することが可能な水中航走式機雷掃討具を、平成16年度以降建造の掃海艇に搭載する予定である。	その他の参考情報
--	-----------------